

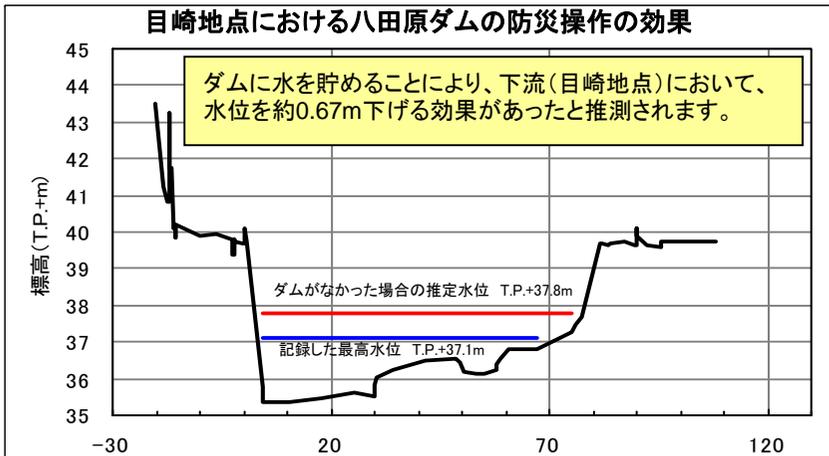
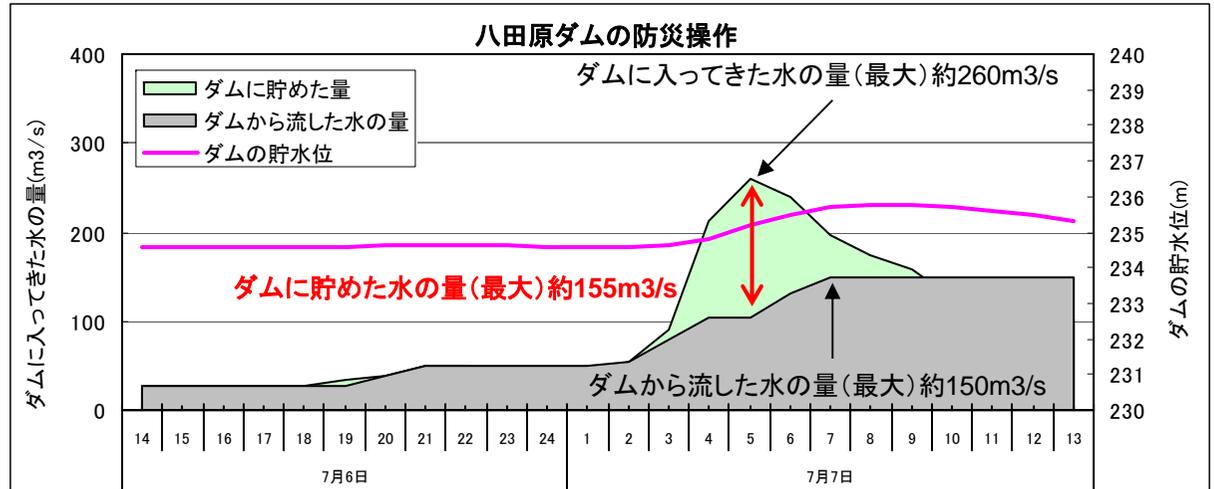
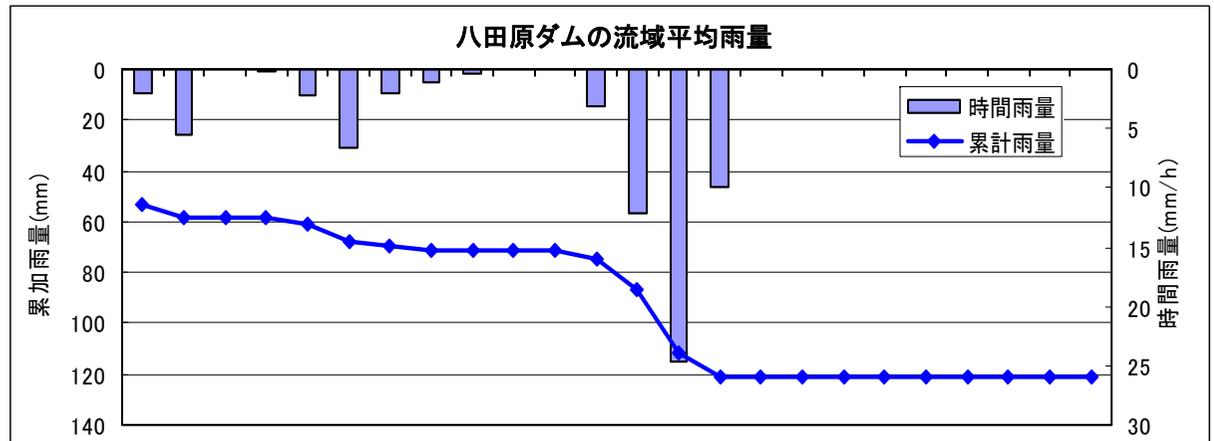
八田原ダムにおける防災操作による治水効果(平成24年7月4日～7日 梅雨前線)

平成24年7月6日の深夜から7日の未明にかけて梅雨前線の影響により強い雨が降り、古城雨量観測所では時間最大雨量33mm、4日の降り始めからの流域平均総雨量は約120mmを記録しました。

八田原ダムでは、ダムへ入ってきた水の量が最大で約260m³/sに達し、このうち、最大で約155m³/sの水をダムに貯め込みました。

この結果、下流(目崎地点)で約67cmの水位を下げる効果があったと推測されます。

八田原ダム位置図



※各数値は速報値であり、今後、変わる可能性があります。